

平成30年12月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年12月分について、輸出は「電気回路等の機器」、「半導体等電子部品」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「電気計測機器」、「自動車用等の電気機器」などが増加したことから対前年同月比3.2%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」「医薬品」などが減少したものの、「原動機」、「航空機類」、「通信機」などが増加したことから、同17.7%の増加となった。

その結果、差引額は66億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	899億円	+3.2%	965億円	+17.7%	▲66億円	—
	20カ月連続の増加		4カ月連続の増加			↗

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	85億円	+74.5%	輸入	増加品目	(1) 原動機	119億円	+124.7%		
		(2) 電気計測機器	84億円	+8.9%			(2) 航空機類	99億円	+180.1%		
		(3) 自動車用等の電気機器	29億円	+14.8%			(3) 通信機	31億円	+122.6%		
	減少品目	(1) 電気回路等の機器	46億円	▲28.6%		減少品目	(1) 有機化合物	45億円	▲43.7%		
		(2) 半導体等電子部品	62億円	▲13.5%			(2) 医薬品	100億円	▲24.5%		
		(3) 医薬品	7億円	▲43.0%			(3) 衣類及び同附属品	17億円	▲36.8%		
	主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域 増減	アメリカが増加、アジア、EUは減少				

（参考）ドルレートは、113.12円（前年同月比0.6%、0.64円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。